

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区加納町6丁目3番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)393-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1994. 11. 85号



分科会で熱心に話し合う寺族婦人

近畿ブロック寺族婦人研修会が去る十月二十七日から二十八日にかけて、建設中の明石大橋を眺める舞子ピラ(神戸市垂水区)を会場に開催され、近畿六教区から百七十四人の寺族婦人の参加があった。講師に瓜生津隆真師(京大女子大学教授・滋賀教区犬上南組法城寺住職)を迎え、「蓮如上人の教え」―平座の教化伝道―をテーマに、一時間半の講義があった。

蓮如上人の生涯を通して信心正因を強調しながら、一方では王法為本と宗教者としての矛盾、人間の苦悩を抱えながらの教化伝道をされたことを話され、教団は何のためにあるのかと問題提起をし、同朋教団と標榜する以上同朋という心に立った精神がこの教団に輝き、生かされ、実のあるもの

その後、記念品の腕輪念珠の色別に六班に分かれて、それぞれのテーマで分科会が行われ、約二時間に渡って熱心に話し合いがされた。その後、夕食懇親会があり、カラオケなどを入れて賑やかに懇親を深め、松上佐代子さん(神崎組正善寺)が

舞を披露して華をそえた。二日目は、講師に梯實圓師(浄土真宗教学研究所副所長・大阪教区広台寺前住職)を迎え、「真宗寺院における儀礼」をテーマに一時間十五分の講義があった。お寺は儀礼空間であり、どういう意義・機能をもっているのか知っておきたい、と、本堂の中心が阿弥陀様というのとは宗教的儀礼空間であることを定義した。門を入る時には一礼をする。ことを門徒さんに勧めて、聖域と世俗の境界であることを教えて欲しいとし、非日常的空間で日常生活をする寺族は意識とめざめが必要であると述べた。また、本願寺の阿弥陀堂と御影堂の話や本願寺の歴史を話され、内陣でのお勤めは、浄土の莊嚴と如来を演じていることであると述べた。

その後、昨日の分科会の発表があり、まとめに坊守の言葉の由来などが梯實圓師よりあり、閉会式では来年度開催教区の滋賀教区寺族婦人会連盟委員長の中神浩子さんより「蓮如上人さまゆかりの地、近江でイノベーター坊守にめざめるべく会員一同お待ち致しております」とあいさつし、昼食をとって散会した。

藤本芳子さん(ふじもと・よしこ)高砂組福正寺坊守)十月四日、八十五才で往生。葬儀は十月七日、福正寺で、「慈光院釋尼妙芳」。

木村正大師(きむら・しょうだい)加古川組教泉寺住職)十月十九日、七十九才で往生。密葬を十月二十一日、宇治市の自宅。本葬を十月二十四日、教泉寺で、「正覚院釋正大」。昭和二十九年から住職在職四十年。

京都女子大学助教授を経て千代田女学園高等学校・中学校校長。京都女子学園高等学校・中学校校長。相愛学園高等学校・中学校校長を歴任。中央選挙管理委員会委員を務められた。

法語カレンダー
申込みは早く
毎年、真宗教団連合から発行されており「法語カレンダー(平成七年度版)」を教務所でも取り扱っております。

価格は一部百四十円(送料実費)です。ご希望の方はお早めに電話かハガキでお申込みください。

近畿寺婦で一泊研修

舞子で寺院儀礼を学ぶ

蓮如上人の生涯を通して信心正因を強調しながら、一方では王法為本と宗教者としての矛盾、人間の苦悩を抱えながらの教化伝道をされたことを話され、教団は何のためにあるのかと問題提起をし、同朋教団と標榜する以上同朋という心に立った精神がこの教団に輝き、生かされ、実のあるもの

その後、記念品の腕輪念珠の色別に六班に分かれて、それぞれのテーマで分科会が行われ、約二時間に渡って熱心に話し合いがされた。その後、夕食懇親会があり、カラオケなどを入れて賑やかに懇親を深め、松上佐代子さん(神崎組正善寺)が



八月月中旬を過ぎる頃は、連日の炎天で、水田への給水もあやまられた。池の底水を汲みあげ「折角、育った稲を、立ち枯れにはしたくない」と悲痛な思いで、日夜水の工面に奔走していた。「せめて保有米だけでも」と念じていた。◆二ヶ月たった今日、巷で「曾てない大豊作や」と異口同音に聞かれる。表情はがらりと変わって明るい。「一時はどうなることか」と心配の連続だった。でも、大自然の恵みに生かされてよかったです。」と喜ぶお同行の中に「この恵みも阿弥陀さまのおはたらきがあったからですね」というものがある◆若しそうだとすれば、大自然が阿弥陀様ということになって、それは受け取り方が違って、それはお念仏の世界で最も嫌がられるものが自力の計らひである。無条件の本願を頂きながら、自力の計らいが大悲を拒んでいる◆如来の本願力は人間の迷惑造作を超えて法自体、法爾として実在し恒常不変にはたらいていて下さる。自然法爾である。(中山肇佳)

教区だより 11・12月

12日(土)	江並教堂報恩講	1時
14日(月)~16日(水)	別院常例法座 杉本正典師	1時半
17日(木)	愛生園・光明園報恩講	1時
19日(土)	神明組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	金覚寺
21日(日)	近畿教誨師研修会	難波別院
22日(火)	氷上東組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	照蓮寺
25日(金)	養父組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	永照寺
26日(土)	阪神東組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	福円寺

27日(日)~29日(火)	別院報恩講 藤山達郎師	
30日(水)~11月1日(木)	教区仏婦研修旅行	和歌山方面
2日(金)~3日(土)	豊岡教堂報恩講	
3日(土)	神戸西組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	仏心寺 1時半
4日(日)	永代経開闢法要	大谷本廟
6日(火)~7日(水)	寺族婦人会研修旅行	滋賀方面
10日(土)~11日(日)	中部・近畿仏壯連絡協議会	タワーサイドホテル
12日(月)	阪神南組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	照蓮寺
13日(火)~14日(水)	第2回教区相談員研修会	本山



1階の柱の型枠を組む現場94, 10, 27撮影

本願寺神戸別院改築 兵庫教区教化センター設立 建設工事進捗状況

現況
(A工区Ⅱ東側地上二階) 9/19日
・総合定例打合せ
20日~25日
・一階部分の南、東面に外部の足場が架設。
・柱と壁の鉄筋の組立
24日~31日
・型枠建込み
・スラブ配筋
26日
・定例打合せ

予定
11月に入って地上二階の梁、スラブ配筋を終え、7日頃からコンクリート打設や設備配管をして、地上二階部分の工事にかかる予定。
建設費志進納総額 十三億一千八百四十四万四千八百五十円
(94年10月31日現在)



富永真順氏
江並教堂新職員に
平成六年九月十日付けで富永真順(とみなが・しんじゅん)氏が江並教堂承任として入所。昭和三十八年生まれ。所属寺は佐用組浄宗寺。また、長年ご苦労頂いておりました、井上法順氏(岡山南組光明寺)が非常勤とされました。

寺婦研修旅行を 12月6日~7日に
寺族婦人会連盟(辻岡武子委員長)では、来る十二月六日から一泊二日で「蓮如上人のご旧蹟と琵琶湖を訪ねて」とバスで研修旅行を実施する。参加費は一人二万八千円、募集人数は八十人(バス二台)、お申込みは十一月二十日までに各組委員または寺族婦人会連盟事務局(担当尾井)まで。

敬 弔

藤本芳子さん(ふじもと・よしこ)高砂組福正寺坊守)十月四日、八十五才で往生。葬儀は十月七日、福正寺で、「慈光院釋尼妙芳」。

木村正大師(きむら・しょうだい)加古川組教泉寺住職)十月十九日、七十九才で往生。密葬を十月二十一日、宇治市の自宅。本葬を十月二十四日、教泉寺で、「正覚院釋正大」。昭和二十九年から住職在職四十年。

京都女子大学助教授を経て千代田女学園高等学校・中学校校長。京都女子学園高等学校・中学校校長。相愛学園高等学校・中学校校長を歴任。中央選挙管理委員会委員を務められた。

講義より法座中心に

連研のための研究会で討議

十月四日、第一回連研のための研究会が神戸別院で開催され、教区内から組長を始め連研に携わっている方々が七十三人参加した。

この研究会は法座活動について基本的理解を深めるとともに、「連研ノートD」の問いについて具体的な内容を研究し、あわせて、連研未実施・休止の問題を含む連研実施上の問題点の克服をめざすことをねらいとしている。



別院仮本堂での研修風景

弘之組相談員が「組連研の開催状況と問題点」をテーマに発表し、岡山南組の奥原和光組相談員が「連研未実施・休止の問題点とその克服」をテーマに発表した。それをを受けて協議会2がもたれ、十二回のカリキュラムのテーマや講師御礼のこと、連研の日程についてなどの質問が出された。

当日は連研中央講師の阿部信幾師（東京教区群馬組西福寺）を講師に問題提起があり、法座活動の展開と使用教材について「連研ノートD」を作った意図は、教義をよく知っている門徒を育てる連研ではなく、社会の実情の中で仏教徒として、どういう生き方、どういう姿勢であるべきかを考えていく連研を目指していることに注目したいとし、テキストについては、もっと聞きたいと思う人にはよいが、そうでない人に渡すのは問題があるのではといった提起が

ら知りたいというニーズから教義から出発することも大切ではないか。ただそれだけに終わっていることに問題は「法座活動については「中央教修修了者」をサブリーダーとして各組に入ってもらっているがなかなか難しい」といった意見がだされた。

昼食後、阪神東組の長澤

「儀礼について」

大阪教区東住吉組 常徳寺住職

宇野行信師

青僧会研修会で講演

十月二十一日、青年僧侶の会（晃晃洋会長）研修会が神戸別院で開催され、宇野行信師（大阪教区東住吉組常徳寺）が「儀礼論」をテーマに講演した。青年僧侶の会では六月二日にも同

教区で僧侶研修総括

2月17日に開催決まる

本年度初めての企画常任委員会が十月十九日、神戸別院仮本堂にて教区基推委

今後の教区基幹運動の推進の方向性を定めることをめざして協議された。

括として教区で二月十七日に開催し、それまでに、未開催の組へ開催するよう依頼することが決まった。

会長（山崎一朗師・久堀弘義師）、各推進委員会代表（富永真哉師・松島法城師・増井浄見師・藤榮行信師・曾根真正師）、教区会代表（田中法剣師）組基推委代表（山本宣昭師）、各組代表（菅義仙師・光森宣明師・応供乗生師）の構成で開催された。

この会議において、各委員会、各組で協議されたことの経過報告などを聞き、

また、全戦没者追悼法要については来年教化センター完成後、センターで開催することとし、教区をあげての開催として、サブタイトルをつけ、意義と願いを企画常任委員会を示し、具体的には実行委員会を別に構成し推進していくことが方向づけられ次回十月十九日の委員会に法要のあり方等の素案を提出し、協議することとして閉会した。

二組で巡教記念法座

10月誌

◆10月1日 第一土曜仏教講座。講師は山田徹念師（竜谷大学文学部教授）。テーマは「ものところ」。◆2日 永代経開法要を大谷本廟で◆多可組住職寺族同朋講座・僧侶研修が正門寺で。講師は杉本正典師（北摂組光澤寺）。◆3日 二やさいいから人なんです展準備会が人権会館で◆4日 連研のための研究会を別院で（二面に別記）。◆研修指導部会を別院で◆青年僧侶の会役員会を別院で◆5日 全国寺族青年軟式野球大会が滋賀県の佐川急便グループ守山球場で。二十五教区から二十八チームの参加で、兵庫からは南无チームとBANの二チームが参加。南无チームは一回戦新潟教区と対戦。0-1で完封負け。BANチームは一回戦岐阜教区と10-9と接戦をものにしたが二回戦山陰教区に2-10で敗退した。決勝戦は翌日富山教区対東海教区で6-3で富山教区が三年ぶり二回目の優勝を飾った。

三位は安芸教区であった。◆6日 門徒総代但馬ブロック研修会を豊岡教堂で。講師は富永真哉師（佐用組浄宗寺）。研修指導員は高崎長英師（北摂組正光寺）。◆7日 揖尾西組住職寺族同朋講座・僧侶研修が了福寺で。講師は大西耕雲師（安栗組教専寺）。◆7日 別院仏婦学習会◆別院仏婦定例法座。講師は多田満之師（赤穂北組西光寺）。◆門徒総代丹波ブロック研修会を多紀組専福寺で。講師は前日に引き続き富永真哉師・研修指導員は高崎長英師。◆8日 揖尾西組蓮如上人五百回遠忌法要ご消息披露を德行寺で。特命布教使は近藤龍樹師（加古川組普光寺）。◆11日 兵庫県仏教教師会役員会が真言宗の大竜寺で。土基教務所長が出席。◆12日 二ビハラ兵庫役員会を別院で。講師は鍋島直樹師（竜谷大学講師・神戸中組真覚寺）。テーマは「親鸞聖人と二ビハラ活動」。講義の後、実践活動の現況報告を宏林澄代さん（安栗組妙福寺坊守）永井光夫氏（多可組照光寺門徒）前田正子さん（阪



講師の鍋島師

神東組源正寺門徒）が発表した。◆13日 門徒総代西播ブロック研修会を姫路西組本徳寺で。講師は佐々木大観師（安栗組西願寺）。◆近畿教務所長会が津村別院で◆14日 西播常例打合せ会が姫路で◆14日 16日 別院常例法座。講師は窪田正憲師（揖尾西組源徳寺）。◆15日 16日 スカウト研修会が山科別院で◆16日 神姫組住職寺族同朋講座・僧侶研修が泰法寺で。講師は藤野昌俊師（播磨中組光福寺）。◆17日 網干組住職寺族同朋講座・僧侶研修が教蓮寺で。講師は西池哲俊師（出石組勝林寺）。◆18日 水上西組で即如門主組巡教記念法座を正覚寺で。講師は大田唯念師（播磨中組西

念寺）九月四日には泉京寺で。講師は山崎一朗師（出石組正福寺）。九月十日には西光寺で。講師は太田唯念師。播磨中組で十月二十八日に光福寺。十二月十八日に願正寺。十二月十八日に光宗寺で開催。講師は三会所とも山崎一朗師。こうして組巡教のあった翌年に記念法座が開かれる。◆19日 企画・常任委員会を別院で（二面に別記）。◆19日 20日 全国教師大会が東京で◆20日 二ビハラ兵庫研修会を別院で。講師は鍋島直樹師（竜谷大学講師・神戸中組真覚寺）。◆寺婦運営委員会を別院で。近畿ブロック寺婦研修について◆姫路ブロックの建設懇志未進納寺院へ財務委員が出向◆21日 水上西組蓮如上人五百回遠忌法要ご消息披露を安養寺で。特命布教使は井上朋義師（加古川組正願寺）。◆青年僧侶の会研修会を別院で。（二面に別記）◆都府県同宗連との交流会が京都で。同兵宗連事務局長の杉本正典師が出席（北摂組光澤寺）。◆22日 播磨東組・播磨中組・多可組・

加古川組・高砂組が東播ブロック合同で蓮如上人五百回遠忌法要ご消息披露を兵庫女子短期大学で。特命布教使は、富永真哉師（佐用組浄宗寺）。◆24日 岡山北組蓮如上人五百回遠忌法要ご消息披露を報恩寺で。特命布教使は、藤山達郎師（神崎組乗徳寺）。◆25日 神崎組住職寺族同朋講座・僧侶研修が教徳寺で。講師は堀正昭師（揖尾西組明正寺）。◆佐用組住職寺族同朋講座・僧侶研修が円徳寺で。講師は八雲凱美師（佐用組教蓮寺）。◆岡山北組の建設懇志未進納寺院へ財務委員が出向◆26日 27日 近畿ブロック寺婦研修会を兵庫教区担当で舞子ピラで（一面に別記）。◆28日 愛生園追悼法要に土基教務所長が出向◆部落解放同盟県集會実行委員会が人権会館で◆29日 30日 第三連区門徒推進員研修協議会が奈良で◆31日 阪神南組住職寺族同朋講座・僧侶研修が常念寺で。講師は藤榮行信師（淡路組宣徳寺）。◆岡山南組の建設懇志未進納寺院へ財務委員が出向。

安養寺に オハツキイチョウ ギンナンが葉の先について一風変わったオハツキイチョウがこのほど、神明組安養寺で見つかった。オハツキイチョウは具内でも、県天然記念物に指定されている加西市殿原町の「殿原のイチョウ」をはじめ、数カ所でしか確認されていない。このイチョウは、高さ約六メートル、幹の直径約五センチ、推定樹齢百年以上で毎年たくさんギンナンをつけるという。植物に詳しい室井紳農学博士によると、イチョウはかなり原始的な植物で、地質時代のイチョウはすべてギンナンが葉に付いていた。その進化の過程で、生殖器に分化が起り、現在みられるように葉とギンナンが別々になったが、オハツキイチョウは太古に戻った先祖だといふ。 光森龍樹住職は「毎年ギンナンを見ているのですが、今までこんなのはなかったんですよ」と驚いていた。（神戸新聞十月二十日より）

未進納寺へ委員出向